

国鉄分割・民営化で不当解雇から26年 2・17労働者集会

解雇撤回と職場を一体で 外注化粉碎の新たな闘い

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

号外

2013年2月27日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 D.C.会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp



国鉄分割・民営化によって国鉄労働者7628人がJR不採用となった1987年2月16日から26年。東京・錦糸町のすみだ産業会館で2月17日、国鉄闘争全国運動の呼びかけで「国鉄分割・民営化で不当解雇から26年/2・17労働者集会」が開催されました。約650人が集まり、国鉄闘争と職場からの闘いが一体となった熱気あふれる集会となりました。

主催者あいさつでは、元国労九州本部書記長の手嶋浩一さんが「解雇自由の攻撃が強まり、闘わなければ奴隷になる時代。経営者がいなくても労働者は生

きていける。これを職場でどんなに訴えよう」とアピール。日本近代史研究者の伊藤晃さんは「労働者が自らの存在意義や尊厳に目覚め、労働者が労働者階級になっていく重要な場」として全国運動の意義を語りました。愛媛県職労の宇都宮理委員長は「国鉄分割・民営化で突きつけられた課題は、いまやすべての労働者共通の課題になった」と決意を述べました。

動労千葉の田中康宏委員長は、昨年の6・29判決を受け、高裁での解雇撤回・JR復帰の判決に向けた課題と可能性を訴えました。さらにJR検修職場における外注体制を粉碎する第2ラウンドの闘いに突入する決意と方針を示しました。

署名拡大の訴え

1047名解雇撤回の闘いで、国労闘争団と動労千葉争議団が大きな拍手に迎えられて登場しました(写真)。

動労千葉争議団の中村仁さんは「高裁で必ず勝ってJRに復帰する」と語り、国労闘争団の成田昭雄さんは「解雇された者は解雇撤回以外にない」と闘志を示しました。

動労千葉顧問弁護士の葉山岳夫弁護士は6・29判決について「4・9和解を跳ね返して闘ってきた全国運動の大きな成果」とその意義を述べました。

36協定めぐり追及

関道利(動労千葉 幕張支部)

私は外注化で強制出向させられた側です。当局は毎日、一つひとつの業務を発注する形でスト対策を打っています。不当労働行為として追及します。

千葉鉄道サービス(CTS)幕張運転車両所の職場代表になり、36協定締結めぐって交渉してきました。ずっと未締結のまま超過勤務、休日勤務が行われて

団結すれば勝てる

石井真一(動労水戸 委員長)

動労千葉、国労、全動労の間が解雇された。われわれも売店やベンディングセンターに送られ、運転士登用差別、昇進差別を受けてきた。絶対に許さないと不当労働行為紛争裁判を闘い抜いてきた。私も下請会社に出向させられ

現場からの決意

「解雇撤回・JR復帰を求め高裁署名運動」の呼びかけ人の訴えでは、下山房雄さん(九州大学名誉教授・JR東日本株主会前会長)と杉本一郎さん(自交総連北海道地連書記長)が「国鉄闘争は終わってない」「労働運動の原則を握った、多くの賛同を得られる幅広い運動を」と署名の拡大を呼びかけました。

外注化阻止・非正規職撤廃の闘いに向けてJR職場からの決意表明では、千葉鉄道サービス(CTS)へ強制出向された動労千葉の関道利執行委員が、C

ワンマン化許さぬ

岩瀬恵一(動労千葉 木更津支部)

久留里線では昨年12月、車両がすべて新型車両に変わりました。運転士は、まったく違う車両を扱うことになりました。

その上、3月16日のダイヤ改で34本のうち24本をワンマンにするのが提案されています。この提案が強行されれば、2両編成でも運転士1人で運転しなければならない。車両とホー

偽装請負の学習会

漆原芳郎(動労連帯高崎 副委員長)

高崎では約60人が高崎鉄道サービス(TTS)に出向させられた。私がある籠原事業所では構内関係34人が出向させられた。

この間、籠原で労働組合の枠を越えて偽装請負摘発に取り組み、学習会には30人ぐらいが集

水戸の照沼靖功さん、動労西日本山田和広書記長ら青年労働者の決意が続きました。ライフサイクルによる強制配転から3年となる滝さんは、3月1日付で運転士への復帰を待ちこたえたことを報告しました。

強制的無効確認訴訟について石田亮弁護士と森川文人弁護士が「外注化は、追いつめられた資本による絶望的攻撃だ」と意気込みを語りました。

大阪の自治体労働者らの決意表明が続き、最後に、呼びかけ団体でもある全金本山労組の長谷武志副委員長の団結ファンローで集会は終わりました。

ム幅が最大37センチの高さがあるところもあり、幼稚園生が車両とホームの間に落ちて車掌が救助したこともありです。

専門的なことですが、ATS-Pが新しく導入されて、その訓練も全然進んでおりません。君津市や木更津市、小学校や幼稚園にワンマン運転の危険性を訴えてきました。抗議の声を集中して、地域住民の輸送手段を守るためにも団結してがんばっていききたい。

まった。TTSとの団交も動労連帯高崎が先陣を切ってやってきました。

プロパー育成の計画もはつきりしない。籠原ではTTSもJRも詰め所が同じで、JR助役の机の隣にTTSの作業責任者の机がある。偽装請負のものだ。

これからも偽装請負を摘発し、外注化粉碎でがんばっていき

